

地域管理経営計画の概要

斐伊川森林計画区（島根県）

1 森林計画区の概況

国有林野面積は5,979haであり、昭和30年以降の買入れによる国有林が大部分を占め、計画区域内に広範囲に点在しています。



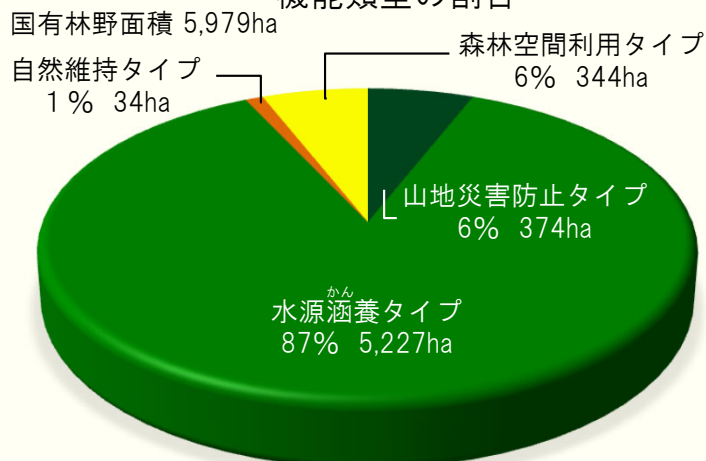
森林計画区内の総土地面積に占める国有林野の面積割合は2%、森林面積に占める割合は3%となっています。国有林野の人工林率は57%で、この森林蓄積の約7割が10齢級以上と利用期を迎えていることから、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。

一方で一部の国有林野は、ヤマタノオロチ退治の舞台地として知られている船通山、「出雲国風土記」の国引き神話にも登場する三瓶山など、本計画区を代表する観光地やその周辺に位置し、登山や保健休養等の場として広く利用されています。

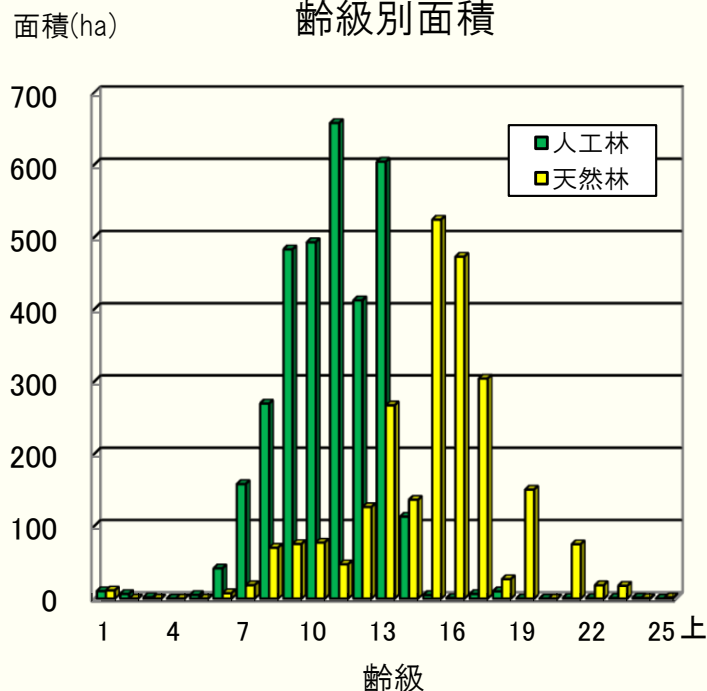
森林計画区内における森林面積の割合



機能類型の割合



齢級別面積



- 注1 各データは令和4年現在。
注2 四捨五入等により内訳と合計が合わない場合がある。
注3 齢級とは、5年をひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

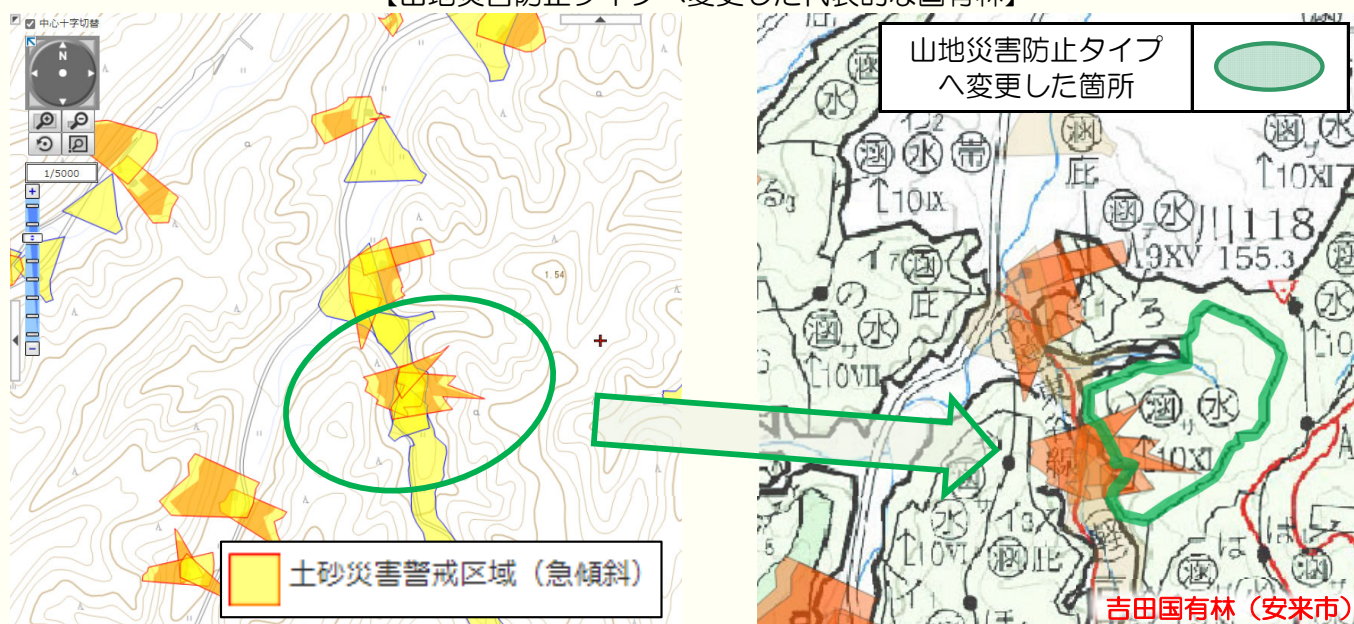
2 計画策定にあたってのポイント

(1) 災害に強い国土基盤の形成に向けての機能類型の変更

気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、土砂災害警戒区域となっている区域のうち伐採計画のある箇所（14.57ha）について山地災害防止タイプに変更しました。

機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)
山地災害防止タイプ	374.35	359.78	+14.57	吉田（安来市） 芦原（雲南市）

【山地災害防止タイプへ変更した代表的な国有林】



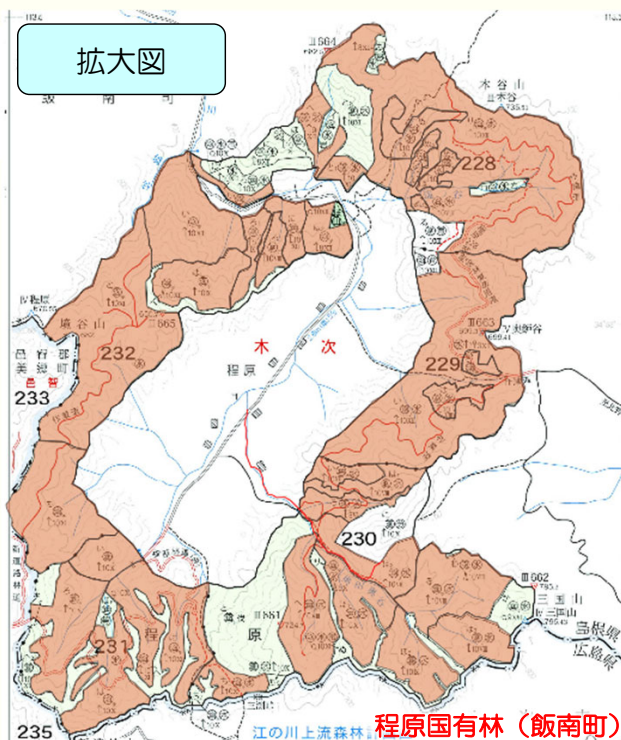
(2) 森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更

森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、带状等の伐採と植栽により育成複層林へと誘導することとされています。

このため、水源涵養タイプの人工林うち一定の条件が見合うものについては、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」、^{かん}「複層林施業群（面的）」へ変更しました。

施業群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)
複層林施業群	780.42	91.94	+688.48

【複層林施業群へ変更した代表的な国有林】



3 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(1) 主要事業量

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、701ha（8.3万 m^3 ）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、158ha（5.0万 m^3 ）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	158ha（50,450 m^3 ）	106ha（35,403 m^3 ）	伐期を迎える分収林の増
	間伐	701ha（82,628 m^3 ）	834ha（85,913 m^3 ）	間伐対象林分の減
更新総量	人工造林	159.28ha	129.18ha	主伐の増加に伴う増
	天然更新	2.78ha	3.43ha	対象箇所減少に伴う減
保育総量	下刈	437.64ha	383.30ha	人工造林の増加に伴う増
	除伐	9.67ha	6.86ha	対象箇所増加に伴う増
林道事業	開設	0m	2,450m	森林整備箇所に応じた減
	改良	700m	215m	修繕箇所の増加に伴う増
治山事業	保全施設	4箇所	2箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴う増
	保安林の整備	95.60ha	78.38ha	整備対象森林の増加に基づく増

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

(2) 民有林と連携した施業の推進

地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林整備協定を締結するとともに森林共同施業団地を設定し、民有林と連結した路網の整備と相互利用の推進、民有林と協調を図りつつ計画的な間伐等や現地検討会等を通じた民有林への森林・林業技術の普及に取り組めます。本計画区は4つの協定を締結しています。

名称（所在市町）	対象地		
程原・上赤名地域 森林共同施業団地 （飯南町）	民有林	375ha	—
	国有林	370ha	程原国有林 女亀山官行造林地
八川地域 森林共同施業団地 （奥出雲町）	民有林	230ha	—
	国有林	98ha	八川国有林
井原谷・南谷地域 森林共同施業団地 （雲南市）	民有林	324ha	—
	国有林	119ha	南谷国有林 矢ノ峰官行造林地
深野地域 森林共同施業団地 （雲南市）	民有林	1,101ha	—
	国有林	565ha	三谷国有林 奥原官行造林地

連携して行う取組み

間伐等の森林整備、路網の整備、路網、土場の共同利用、民有林への森林・林業技術の普及

【現地検討会の様子】



八川国有林（奥出雲町）

アウル（地上レーザースキャナ）、ドローン（無人航空機）など、ICT技術を活用した高精度な森林情報を収集する方法の実演、林業の低コスト化に向けた伐採から植栽までを一貫作業システムの実証等を紹介し、課題や方策について意見の交換を行いました

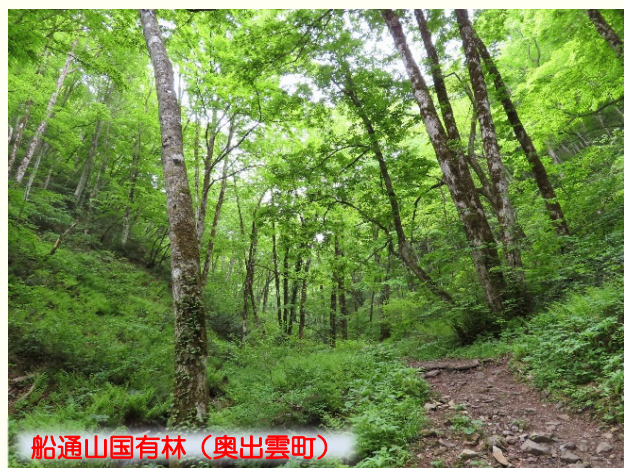
4 国有林野の維持及び保存に関する事項

保護林

本計画区では、船通山国有林に希少個体群保護林1か所を設定しています。

この保護林は、地域を代表する自然植生であるブナ・ミズナラ・ホオノキ等の天然林及びその遺伝資源を保護しており、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。

名 称	面積 (ha)	特 徴	国有林名 (市町村)
船通山ブナ・ミズナラ・ホオノキ等 遺伝資源希少個体群保護林	34.17	ブナ、ミズナラ等の天然分布を 保護し、林木の遺伝資源の保存	船通山 (奥出雲町)



船通山国有林（奥出雲町）

【保護林の登山道沿い林況】



船通山国有林（奥出雲町）

【山頂：柵はカタクリ等希少植物の保護のための立入り制限】

5 林産物の供給に関する事項

木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

人工林資源の成熟に伴い主伐を推進することにより、木材供給量が増加することを踏まえ、伐採・搬出方法についても、路網、架線、高性能林業機械の組合せにより、林地保全に十分配慮した伐採搬出に努めます。

【一貫作業システムによる複層林（帯状）造成】



八川国有林（奥出雲町）

一貫作業システムは、「伐採から再造林（地拵え・植栽）までを一連の流れで行う」作業方法です。伐採・搬出作業で利用する機械を同時進行的にそのまま再造林にも利用できるため、大幅な作業効率の向上・省力化が可能となります。

植栽に使用する苗木は、植栽時期を選ばないコンテナ苗を使用しています。

【ザウルスロボによる搬出路作設の様子】



八川国有林（奥出雲町）

【プロセッサによる集造材の様子】



八川国有林（奥出雲町）

6 国有林野の活用に関する事項

公衆の保健のための活用の推進

「レクリエーションの森」である「三瓶山風致探勝林」は島根県の中央部にあり、トロイデ型の休火山で、山麓には草原が広がります。

風致探勝林は優れた自然景観を構成している森林等で、施設等の設置により自然探勝等の休養活動を助長する地域とされ、女三瓶山（写真中央）へは三瓶観光リフトにより山頂付近へのアクセスも容易です。

【三瓶山東の原：登山口でもあり放牧場や果樹園のある広大な一帯となっています】



種 類	名 称	国有林名（市町村）	面 積（ha）
風致探勝林	三瓶山風致探勝林	三瓶山（飯南町）	106.97

7 国民参加による森林の整備に関する事項

社会貢献活動、多様な活動の支援

①企業による社会貢献活動の一環として行う森林整備活動、②特定の森林・登山道の管理等の象徴的な活動を支援するため、協定を締結して活動のフィールドを提供する①「社会貢献の森」及び②「多様な活動の森」を設定しています。

【職員による森林教室の様子】



【鋸による木の切断体験の様子】



協定の種類	名 称	国有林名（市町村）	面 積
社会貢献の森	連合島根「ふれあいの森」	大志戸（雲南市）	4.03ha
多様な活動の森	安寿の森吉田	吉 田（安来市）	8.16ha